

令和4年竹田市教育委員会第1回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和4年1月11日（火）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員
教育長 志賀 哲哉
1 番委員 賀籠六尚樹
2 番委員 甲高 幸一
3 番委員（教育長職務代理者） 佐藤 恵
4 番委員 吉野 聖子
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名
教育総務課長 後藤 惟稔
学校教育課長 渡邊 早苗
生涯学習課長 工藤 直樹
まちづくり文化財課長 古田 卓
竹田中央学校給食共同調理場長 後藤 一郎
歴史文化館長 佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課参事 大塚 聡子
- 6 議事日程
(1) 会議録の承認 第12回定例会会議録
(2) 教育長報告
(3) 審議事項
議題第1号 令和4年度竹田市教育費予算（当初予算）要求書について
議題第2号 竹田市総合運動公園ネーミングライツ・パートナー選定等委員会審査前の意見聴取について
(4) 報告事項
報告第1号 令和3年度竹田市教育費予算（12月補正）について
(4) 報告事項
(5) 審査事項
(6) 協議事項
(7) 連絡事項
(1) 1月幼・小・中行事予定表
(2) 1月教育委員会関係日程（予定）
(3) 今後の主な予定
(8) その他 各課から
(9) 教育委員会からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時]

- 後藤教育総務課長 それでは、委員の出席状況の報告をさせていただきます。教育長、委員4名、欠席0名、傍聴者0名。地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条に基づき本委員会が成立していることを報告します。
- 志賀教育長 新年最初の定例会です。明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。ある方から、昨年は激動の年でしたねと言われました。本年も信念を持って、進んでいきたいと思っています。それではただいまから第1回定例会を開会します。第12回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑修正等ありませんか。
- 委員 (「ありません。」の声。)
- 志賀教育長 それでは、会議録を承認願えますか。
- 委員 (「はい。」の声。)
- 志賀教育長 それでは署名をお願いします。
- (署名)
- 志賀教育長 次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 後藤教育総務課長 それでは教育長報告です。12月6日、竹田市教育委員会第12回定例会、7日、岡城調査整備委員会8日まで、8日、第11回校長・所長会議、9日、市議会一般質問13日まで、同じく10日、菅生小学校今後の在り方について、保護者全体協議、15日、本会議予算特別委員会、納池公園調査委員会、16日、都野中学校今後の在り方について、18日、久住クリスマスコンサート、瀧廉太郎会クリスマスの夕べ、21日、議会社会文教常任委員会、22日、マラソン練習コース変更協議、23日、市議会本会議、第4回竹田市行財政改革推進本部会議、久住中学校今後の在り方について、地区説明会、24日、定例課長会議、28日、仕事納め式、29日から1月3日まで年末年始休暇、1月4日、仕事始め式、7日、新年互例会、9日、令和4年成人式、本日11日、第1回教育委員会定例会、以上です。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等ありませんか。はい、甲高委員。
- 甲高委員 はい。12月10日の菅生小の今後の在り方説明会については、話は聞いておりますが、保護者からどんな意見が出たか教えていただければと思います。
- 志賀教育長 はい。教育総務課長。
- 後藤教育総務課長 菅生小学校の今後のあり方ということで、保護者全体の協議をいたしました。これまでに検討委員会の後、保護者の会議を何回か持ったわけでございますけれども、それについては、統合の年度について、全体の中で話し合ったことに

ついてであります。今の段階、検討委員会にかけているわけではございませんが、保護者の気持ちとしては、令和7年度を以ってということも、ご意見がございました。教育委員会としては、令和7年度までにおける教員の配置、そういったものについての心配事等、説明をしたわけでございます。ただ、南部小学校との交流授業をこの1月から行っていき、年度が変わってもそういう交流授業をしていく、その中で、子供たちが馴染んでいって、保護者の方も、その7年度よりも早くという気持ちになれば、変更もありえるということの話を、全体の協議としてお話をしたところでございます。以上です。

志賀教育長

よろしいでしょうか。その他にございませんか。では、ないようですので次に移ります。本日の審議事項は2件です。議題第1号、令和4年度竹田市教育費予算当初予算要求書についてです。初めに各科から説明を行い、すべてが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは、教育総務課長お願いします。

後藤教育総務課長

議題の第1号の令和4年度竹田市教育費予算の要求書についてであります。まず私の方から教育総務課の予算の内容を説明させていただきます。歳入については、教育使用料、財産貸付収入、雑入とあり内容については、記載しておりますのでございます。歳入要求総合計は、3,604,000円です。次に歳出です。まず基金費ですが、太陽光発電設備基金の積立金となります。次に教育委員会諸費です。主なものとして、教育委員の報酬を記載しております。次に教育委員会事務局費です。ICT支援員の要求をしております。委託料として、資産管理システム、施設台帳システムの委託料を新たに要求しております。県下統一の校務システムが導入されていますので、その利用料が必要となります。また公共施設整備計画で搭載されています、スクールバスの購入費を要求しております。学校支援センターについては、例年通りの要求であります。小学校管理費です。新たなものとしましては、竹田小学校教室棟ベランダ補修工事請負費であります。スクールバス運行費です。今年度の実績に応じた金額を要求額としております。小学校管理諸費の学校支援センターについては、管理備品費の増額要求です。次に中学校管理諸費です。4年度の新たなものとして、緑ヶ丘中学の外壁露筋補修工事を要求しております。スクールバス運行費です。今年度の実績に応じた金額を要求額としております。中学校管理諸費の学校支援センターについては、先ほどの小学校の時と同様、管理備品費の増額要求です。幼稚園運営費については、例年通りであります。以上です。

志賀教育長

では渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。5ページをご覧ください。学校教育課の歳入については、教育費負担金、教育費国庫補助金、教育費県補助金、ふるさと竹田応援基金繰入金としまして、内容につきましては、そこに書かれてある通りでございます。歳出については、まず、外国語指導助手招致事業費、ALTの派遣事業でございます。また、教育相談推進事業費とありますのは、教育支援センターサフランの開室時、子供が登校する日をこれまでの3日から4日に変えましたので、職員の報酬も増えているわけでございます。人材育成海外交流事業につきましては、アフターコロナ事業として再開予定をしている分です。また、新しい学びプロジェクトにつきましては、11年間東大と連携して、協調学習のジグソー法の研究をして参りましたが、このたびジグソー法だけでなく様々な協調学習を目指

していくということで、この事業の廃止を決断したところです。6ページをご覧ください。スクールソーシャルワーカー活用事業ということで、委託料をそこに上げております。また、小学校保健体育費につきましては、児童減により、やや減額となっております。小学校教育振興諸費、中学校教育振興諸費についても同様でございます。部活動指導員導入事業につきましては、来年度も今年度同様に、3名要求はしておりますが、やや減額とさせていただきます。幼稚園教育振興費についても、例年通り上げておりますが、園児数減を予想し、やや減ということで上げております。以上です。

志賀教育長

工藤生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

はい。こんにちは。1月9日の令和4年成人式におきましては、教育委員の皆様方ご臨席いただき本当にありがとうございました。コロナ禍の中の開催でございましたけど、感染症対策に気をつけてですね、無事終了できたということで、今のところ、ほっとしておるといってございまして。それでは、7ページからでございます。生涯学習課の令和4年度当初予算要求書について、説明を申し上げたいと思います。大きく金額が変わったところのみ説明ということで、させていただきます。ここの21款5項1目の雑入ですね、ここのところについては、ここには書いてないんですけど、令和3年度事業で直入のB&Gの体育館のLED化の工事にB&G財団の方から修繕の助成金を計上しておりましたので、その分が大きく減額ということでございます。歳出でございます。一番上のところから、社会教育総務諸費のところの一番上にですね、土地分筆調査委託料ということでございます。これについては、竹田高校の先に行ったところに、旧竹田小学校の敷地がございまして、その敷地内に、三つの異なる行政財産があるということがわかりまして、それを今回整理するために、土地の分筆調査委託料ということで要求をしております。その土地についてはですね、一つが、竹田分館の体育館、二つ目が市道愛宕谷線、三つ目が未利用の土地がございまして、本来のそれぞれの土地の使用目的に合わせて、行政財産として管理するための要求ということでございます。次に8ページの、公民館費になります。そこのところの事業番号が356。下の方にありますけど公民館運営事業費の久住支所と書いてるところでございます。これ久住公民館の要求になるんですけど、その項目の中に、駐車場樹木伐採委託料84万9000円、これについては道路の道路際にですね、植わっている銀杏が今、もう大変なことになっておりまして、全伐するというでなく上部の枝をですね、伐採するというでございまして。その下に、非常放送設備改修工事ということで108万5000円、これについては、消防設備点検の際に通報とか館内放送ができないという指摘を受けたため、改修工事の要求をしております。それとその下の公民館の、直入支所と書いてありますが、直入公民館につきましては、管理人2名に係る経費の、職員の報酬、手当、共済費を減額いたしまして、ちょっと次のページ開けていただきまして、9ページの下の方にありますが、社会体育施設の方、402の下から4つ目ですが、体育施設管理費直入支所分ということで、そこに、直入体育施設管理委託料ということで、6,275千円上げてますが、一応この中に入れた形で、要求ということにしております。若干この件について説明を申し上げたいと思います。本年3月まで、直入のB&G体育館のトレーニングルームというのがございますが、その管理については、竹田市総合インストラクター協会に委託をしております。この経費については、全額地方創生交付金によっ

て、3年間、支出されてきました。4月からこの交付金がなくなります。ということで、令和4年4月からの管理体制を見直す中で、現状のトレーニングルームの管理委託に加えて、アリーナ、柔剣道場、運動公園、公民館の土日祝日夜間の鍵管理業務をまとめてですね、委託業務ということで加えていけば、直入公民館の管理人さん2名の人件費についてカウントすることができるという判断で、予算要求を行ったというものでございます。次のページ、9ページをご覧ください。一番上段のところに、瀧廉太郎記念音楽祭の開催費がございしますが、これについては、コロナ禍ですね、ウィーン留学できなかった2年前の、73回入賞者の方について補助金をですね、今年の補助金に加えて要求するというものでございます。それとあと、もう三つ下ですね、あ祖母学舎の運営管理費というところでございますが、経年劣化によるですね屋根の補修が必要ということで、462万円の要求をしておるということでございます。それと、下の10款6項2目の事業番号398、飛田川グラウンドのですね、運営管理費というところでございます。これについては、くみ取りのトイレの解体工事費ということで、214万円要求をしております。それと、もう三つ下ぐらいに、事業番号402、体育施設管理費ということで、ここは、失礼、401ですね。401の、久住支所の分ということで、これについては、国道442号の拡幅工事に伴って、クロスカントリーコースを内側へ、コース変更の工事をする必要が生じたためですね、900万円の要求をしております。この件については全額、県の方からの補償費で賄うということでございます。それと、一つ下の、先ほどの402ですね、体育施設管理費直入の支所については、先ほどの、直入の公民館の管理人さんの部分の経費を、そこの直入公民館から落として、合わせて直入体育施設の管理委託料ということで、627万5000円を要求しておるということでございます。それと一番下のところに、海洋センターの運営管理費ということでございます。これについては、1,200万ほど減額ということになっておりますが、令和3年度ですね、今年度について、B&Gの体育館のLED化の工事関係をですね、計上しておったものですから、この部分が減額ということになっております。以上でございます。

志賀教育長

古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長

10ページをお願いいたします。まず歳入ですが、基本は昨年の要求時とほぼ同様の内容の要求をしております。一番上の教育使用料、岡城跡については、本年同様、大人6万人、団体1万人の合計7万人、金額にして2,000万円を目標と掲げております。その下段の国庫補助、それから県補助等はですね、金額の相違はありますけれども、事業に対応した額の要求ということで、計上しております。16の3の7、教育費県補助金は新設でございますけれども、今年度発掘調査に至りました、宮砥高源寺の発掘の整理作業がスタートしますので、ここに3,500万円を計上いたしました。事業費の9割から9割5分については、県費の支出ということになりますので、こういったような形でございます。続きまして歳出ですが、10・5・8の文化財保護事業諸費、御客屋敷、旧竹田荘、文化財管理センター、おたまや公園、すべて基本は維持管理等にかかる経常経費が中心でございます、昨年同様でございます。一点、376の文化財管理センターの会計年度任用職員、この給与関係を、後から出てきます発掘関連の補助事業の方に計上しておりますので、約179万5,000円の減額となっております。378 最下段の旧竹田荘補修ですけれども、これは、母屋の2階の床、それから、

草際吟舎の屋根が傷んでおり、その補修でございます。国 50%、県 8%の率で、収入を計上しております。続きまして 11 ページでございます。納池公園の国庫補助調査事業、感染症の対策の関係で、熊本大学の永青文庫がずっと閉館しております。肥後藩の文献調査ができておりません。こういった遅れがありますので、令和 4 年度まで持ち越して、4 年度に報告書の印刷までするというようにしております。その下の文化財保存活用地域計画策定事業、これにつきましても、思うように協議会等が行えなかったということも踏まえまして、文化庁と相談して約半年延長することになりました。その分の委託料等を計上しております。10・5・9 の岡城関連、これもほぼ昨年と要求時と同じなんですけれども、大きな変更点として、作業用倉庫の建築工事費、1,137 万円を要求しております。大手門に登りつきまして、左側にあるプレハブですが、除草清掃作業の道具置き場や、作業員の雨天や落雷時の避難、待機所に使っております。これがかなり老朽化しております。伐採等で開けたためよく見えるようになったということもあって、観光客からもちょっと不評でございます。これを、坂を少し下ったところにある賄方のトイレの横に、新設で作り直そうという計画をしております。次の岡城の補助事業 2 件でございますが、いずれも継続で、登城した上の通路の舗装工事、それから料金所裏の崖部分の設計をして、工事をするための準備ということで計上しております。それから、10・5・11、市内遺跡の発掘調査事業でございますが、これ、例年通りなんですけれども、県営圃場整備が多くの箇所で行われておりまして、その試掘が予定されております。これを受けて、10・5・11 のもう一つの県営圃場整備関係発掘調査事業、これを新設しました。

先ほど申し上げた、高源寺の整理作業にかかる予算はここに配置しております。さらに、試掘をたくさん行うことで、本調査に至る可能性が高いということで、1 か所分相当の委託料として、約 3,000 万円程度を計上いたしました。この関係の委託費は、昨年度は臨時議会で急遽議決を行ったような経緯があります。農業者の利益を考えますと、いつでも対応できるようにある程度の財源を持っていた方が良さだろうという判断で計上させていただきました。これについては、今年度の実績では 92.5%が県から収入として入るようになっております。まちづくり文化財課、以上でございます。

志賀教育長

次に佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化館長

はい。歴史文化館です。12 ページをお願いいたします。歳入につきましては、入館料等の教育使用料、そして、歴史文化館と旧竹田荘の観覧料や市民ギャラリーの使用料等を計上しておりますが、約 1 万人の入館を想定して、積み上げさせていただきました。同じく、物品売払収入につきましても図録やグッズ等の売り払いですが、今年度の状況を見ながら積み上げさせていただきました。合計として、当初予算要求額 265 万 4,000 円となっております。歳出につきましては、事業番号 390 運営管理費は光熱費や施設関係の警備、収蔵庫の燻蒸等の委託等で、1,508 万円を計上しております。事業番号 391 学芸費は、学芸担当の会計年度任用職員の報酬やミュージアムグッズの開発委託料、歴史資料等の修繕費、歴史資料等の購入費等で、1,701 万 5,000 円を計上しております。事業番号 392 特別展示事業は、重要文化財をお借りして田能村竹田を中心とした特別展を準備したいと考えておりますので、特別展等の展示品の輸送業務委託料や図録等の印刷製本費等を積み上げて 746 万 6,000 円を計上しております。事

業番号 584 アーカイブス・講座事業費は、古文書等貴重資料のデジタル化のための事業費を積み上げて、199 万,6000 円を計上したところです。合計として、当初予算要求額 4,155 万 7,000 円となっております。以上です。

志賀教育長

後藤給食調理場長。

後藤給食調理場長

最初に資料 13 ページをお願いします。歳入の方ですが、給食費の負担金の令和 4 年度の現年分としましては、支援学校の児童生徒及び各幼稚園児、教職員の人数等については、まだ予測ができませんので、昨年 10 月末までの学校、学年の児童生徒数の推計等で予算立てをしているところでございます。久住については、小中合わせて 5 校で 272 名、中央については、直入分の幼小中 3 校入れまして、16 校で 1,366 名ということで、予算計上をしておるところでございます。予算の歳入については以上です。歳出の説明をします。歳出の方の事業番号 361、久住調理場の主なものとしては、消耗品として、通常の白衣、靴、洗剤等の部分については通常通りで、衛生検査が先般ございましたので、食器等の指摘事項を加えまして、1,264 千円、次に修繕費につきましては、今のところ当初予算では、施設や厨房機器の大きな修繕等がございませんので、昨年度よりも予算減となります。備品購入費につきましては、配送車のドライブレコーダーが 1 台、配送車の出入り口のエアーカーテン台設置が 2 台ということで、予算計上しておりまして、久住調理場全体としては 2,144 千円の予算減となっております。直入につきましては、先般 12 月定例会におきまして、直入調理場の統合の議案が議決されましたので、予算等についてはございません。中央調理場については、久住、それから中央調理場の施設整備や、突発的な厨房機器等の軽微な故障等に対応する、従来からの会計年度任用職員の方 1 名分と、昨年 11 月からの市会計年度任用職員で栄養士 1 名分を、報酬と手当を含めて予算増として予算計上しておるところでございます。燃料費につきましては、灯油、軽油、ガソリン等の単価の上昇に伴うものと、調理場の統合により配送車が 1 台増になりましたので、予算増となっているところでございます。光熱費の部分の内訳としましては、中央調理場の施設の電気代は、これまで通りであり、それから食数増に伴い、水道代等の予算増にしております。更に直入調理場の統合によりまして、現在詳細はまだ決まっていない部分の、施設の維持管理に関する最低必要とされる分がでございます。浄化槽の電気代とかですね、トイレの水道代等もこれに含めた中で、予算要求をしておるような状況でございます。それから賄材料費については、直入分を入れて予算計上をしております。トータル的には二つの調理場含めまして、前年対比 8,984 千円減といったような内容となります。以上でございます。

志賀教育長

後藤教育総務課長、図書館について。

後藤教育総務課長

はい。図書館費です。歳入については、コピー使用料、自動販売機手数料、カード再発行料ということで、計上させていただいています。歳出については、主な内容と書いていますが、中身については例年通りでございます。ただ、単価上昇等、少しずつの増額がありますので、全体的には 3,349 千円の増額となっているところなんです。以上です。

志賀教育長

説明が終わりましたので、質疑を受けます。まず、教育総務課について質疑等

ありませんか。はい、佐藤委員。

佐藤委員

スクールバス運行委託料は例年通り要求ということでしたが、去年に比べると、小学校では150万ぐらい、中学校では500万近く上がっていると思うんですが、これは委託する会社が変わったのか、どういうことで金額が上がっているのかをお願いします。

志賀教育長

はい。教育総務課長。

後藤教育総務課長

上げ方としては、例年通りですけれども、実績に伴った額をあげていますので、去年の前年度当初というのは、コロナとかそういった関係で実績が少なかったものですから、令和3年度についてはその分補正もしていますけれども、増えていますので、それによつての実績で上がっています。

志賀教育長

では吉野委員。

吉野委員

2ページの会計年度任用職員報酬ICT支援員さんが1名となっているんですが、2名にはならないんですか。

志賀教育長

教育総務課長。

後藤教育総務課長

直営というか、直で雇用している職員が1名、今、別に委託として1人、事業所からですね、1名、派遣という形で委託をしています。結局は2名体制で動いています。いずれは委託の中にとっていますけれども、4年度は、直で雇っている1名と、委託での1名ということで2名体制で動くということになっています。

志賀教育長

よろしいでしょうか。その他ございませんか。では次に、学校教育課について、質疑はありませんでしょうか。甲高委員。

甲高委員

はい。6ページの10・2・2で322と329の一番下、要保護準要保護児童就学援助費について、少し説明をいただければありがたいなと思います。

志賀教育長

学校教育課長

渡邊学校教育課長

要保護・準要保護児童就学援助費というのは、経済的理由により就学が困難な家庭に学用品費など、就学に必要な経費の一部を援助しています。要保護は、生活保護を受けられている家庭、そして、準要保護というのは、基準に従って、こちらが支援を必要とする、経済的に必要とするご家庭ということで、申請が後、審査に通りましたご家庭については、その児童生徒に援助費を補助していくという制度でございます。竹田市においては、例えば、新入学用品費として、小学校1年生の入学時には6万3100円、中学校であれば7万9500円、その他、給食費や校外活動費、学用品費や修学旅行費、PTA会費、卒業アルバム代等を支援している制度でございます。以上です。

志賀教育長

よろしいでしょうか。その他、ありませんか。では、生涯学習課について質疑あ

りませんか。はい、甲高委員。

甲高委員

8 ページの 10・5・3 の 356、YOU 花の会補助金、これに関してはもう活動されているのはわかっているので予算は問題ないと思うんですが、補助金が他の支所等見ていくと、この補助金は何か例えば他の景観何とか費とかいうのを上げてその中で補助金として出した方がいいのではないかと個人的には思いました。例年こういうふうに計上されていると思うので、変更の必要もないのかなとも思いますが、直入支所や久住支所、荻支所の光熱費等、そういうのを計上している中で、ここで補助金というのが入っているのを目にしてみましたので、金額とかは一生懸命活動されているので問題ないと思いますが。

志賀教育長

生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

この件につきましては内容的には、久住に至る県道沿いとか各箇所に、それぞれこのメンバーの方がお集まりいただいて、四季の花をですね、それぞれ植えていただくと。その 100 万の内訳としては、決算書も年に 1 回いただきますけど、こちらが見るのは種子代、苗代がもうほぼ 100 万でございます。ではなぜここにといった時には、おそらく公民館がその窓口をしておいたからということじゃないかなと思います。支所が窓口であれば支所に付けておけばよかったという話だけど、公民館がその窓口を担っていたので、それがそのままずっと合併以降も公民館にしている。実際公民館の職員が事務をしているわけじゃありません。すべてうちの職員が 1 人ずつ荻、久住、直入の担当がおりまして、その者がその補助金の事務は扱っておりますので、ここになぜついているかと言われれば、久住時代からの流れで窓口を公民館がしていたというところじゃないかなというふうに思っています。

志賀教育長

よろしいでしょうか。その他ありませんか。まちづくり文化財課について。賀籠六委員。

賀籠六委員

コロナ禍であります。今年度の教育使用料の岡城の観覧の人数がわかれば教えていただきたいなと思います。

志賀教育長

まちづくり文化財課長

古田まちづくり文化財課長

はい。ご指摘の部分ですが、12 月末までで 3 万 3,182 人でございます。今年ももちろん目標は 7 万ということで動いておりましたので、残念な限りです。実績的には、令和 2 年度よりも若干下がってしまいました。その一番の原因は昨年度 11 月にあった G o T o トラベルとか、そういったところが今年はないので、今年度も 11 月が 1 万 3,854 人で一番多いながらも、昨年より 1 万 8,500 人よりも、下回っているということかと思っております。大きな課題として取り組まなければならないと問題ですが、現段階では、コロナ明けの魅力度を高めていくという作業を積み重ねたいと思っております。

志賀教育長

はい、よろしいでしょうか。その他ありませんか。歴史文化館について。次に、給食調理場について。はい、佐藤委員。

佐藤委員	歳入の給食費負担金で、滞納繰越分が 50 万円上がっています。この 50 万円については滞納分になると思いますが、これは回収の見込みはあるのでしょうか。
志賀教育長	調理場長。
後藤給食調理場長	過年度の分ですけど、現在、該当者の方に電話かけや訪問等の行動をしているところです。対応はしておりますが、不在の時もあり、中々思うように結果が出ておりません。歳入予算として、とりあえず 50 万という形で上げてさせていただいております。また、市の債権委員会の方でも、指摘を受けておりますので、引き続き行動をしたいと思っております。
志賀教育長	よろしいですか。その他。賀籠六委員。
賀籠六委員	直入学校給食共同調理場が竹田中央学校給食共同調理場に統合するということで、予算が全く計上されていませんが、閉鎖した後に必要な経費とかは全くないのかなと思って、ゼロでいいのかなと、そこをちょっとお聞きしたい。
志賀教育長	調理場長。
後藤給食調理場長	それにつきましては、569 の直入調理場についての予算は、ゼロという形でございます。統合に係る予算としましては、12 月補正の方で、3 調理場すべて食器が違いますので、その分の食器の補正、それから、特に備品購入ということで、二重の食缶がございます。それから食器カゴ、それから特注のコンテナ予算要求し、12 月議会で通りましたので、随時対応させていただきたいと思っております。それから経費がゼロでいいかという質問につきましては、大半はいいと思っております。施設の維持的にかかる分が若干ございますので、その部分については、中央の方で上げております。
志賀教育長	よろしいですか。他に調理場についてありますか。では、次に図書館について。その他、ありませんか。ないようですので、議題第 1 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声。)
志賀教育長	はい。承認されました。 次に、議題第 2 号竹田市総合運動公園ネーミングライツパートナー選定等委員会審査前の意見聴取について説明をお願いします。生涯学習課長。
生涯学習課長	それでは 3 ページをお開きください。議案第 2 号竹田市総合運動公園ネーミングライツパートナー選定等委員会審査前の意見聴取についてでございます。この議案につきましては 12 月の委員会に事前にご説明申し上げた件でございます。令和 3 年 12 月 1 日から 28 日の間、竹田市総合運動公園ネーミングライツパートナーの募集を行って、標記の通り、申し込み書類の提出がありましたので、ネーミングライツ事業実施要領の第 15 条の規定により、あらかじめ教育委員会に意見を聞くものであります。申し込み書の提出があった法人については 1 社で、株式会社丸福であります。中段に、丸福様の概要をです、掲載してお

りますので、読み上げて提案申し上げて、委員の皆様方からのご意見をちょうだいしたいと思っております。それでは資料の中段のところをご覧ください。申し込み法人の概要、所在地、竹田市荻町西福寺 5551-2、法人名、株式会社丸福、代表職氏名、代表取締役 工藤厚憲。応募の動機、竹田市への社会教育施設に民間資金を取り入れ、施設の利活用をさらに推進、施設の維持管理への活用に充当する施策に賛同しました。竹田市のスポーツ行政及び竹田市の発展に少しでも貢献できれば幸いです。希望金額は、1年当たり 100 万円税込みということです。希望の契約期間、令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの 3 年間、愛称案ということで、竹田丸福スタジアム、竹田丸福陸上競技場、竹田丸福テニスコート、竹田丸福多目的広場。愛称案の理由、創業以来、丸福の名前で事業を継続しており、これからも存続していくため、地元竹田市とのさらなる地域密着を目指すということでございます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

志賀教育長 ただいまの説明に質疑等ありませんか。ないようですので、議題第 2 号を承認してよろしいですか。

委員 (「はい。」の声。)

志賀教育長 はい。承認されました。次に報告事項です。報告第 1 号、令和 3 年度竹田市教育費予算 12 月補正についてです。はじめに各課から説明を行い、すべてが終了した後に質疑を受けたいと思っております。それでは教育総務課長お願いします。

後藤教育総務課長 報告第 1 号、令和 3 年度を竹田市教育予算 12 月補正についてでございます。12 月 23 日に承認されました教育予算の補正の教育総務課の分でございます。歳出です。事務局費は車両の購入費、スクールバスでありますけれども、その入札残額の 318 千円を減額しております。小学校の管理諸費については会計年度任用職員の費用弁償が不足するため増額をしております。また今度購入するスクールバスの冬タイヤの購入費ということで計上してあります。これは、318 千円、備品購入費減額した分を、こちらの方で組み替えたということでございます。次のスクールバスの運行費、中学校費でございますけれども、補正前予算額は 7,807 千円となっておりますが、訂正をお願いします。10,411 千円。補正額はそのまま、合計額が 11,774 になります。これは、スクールバスの運行の中で不足が生じるという見込みがございますので、その分を増額をしている部分でございます。学校の中学校管理諸費の学校支援センター分でございますけれども、こちら修繕費を減額をして、その分を足りなくなったコピー機使用料の部分に組み替えたというところでございます。以上でございます。

志賀教育長 渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長 はい。2 ページをご覧ください。歳出です。教育相談推進事業費、教育支援センターサフランの会計年度任用職員の 4 月 1 日採用確定に伴う増でございます。また、中学校教育振興諸費につきましても、会計年度任用職員の 4 月 1 日採用確定及び 9 月改定に伴う増で、合わせて 159 千円増額させていただきました。

志賀教育長	工藤生涯学習課長。
工藤生涯学習課長	はい。3 ページをお開きください。生涯学習課の12月補正の要求については、要求金額について、満額の査定でありました。内容につきましては、歳出についてですね、漏水による久住公民館5万円と久住の運動公園5万2000円の農業集落排水使用料と、直入の公民館の漏水による止水栓及びバルブの取りかえの修繕料ということで、認めていただきました。以上です。
志賀教育長	古田まちづくり文化財課長。
古田まちづくり文化財課長	はい。それでは4ページでございます。基本的には要求通りでございますが、一番上の段、文化財保存事業諸費、これにつきましては、前回ご説明した内容に加えて追加要求を行っております。田能村竹田顕彰会が今年度、お茶会等の活動ができなかったため、補助金の全額減額です。それから、市指定文化財の建造物であります英雄寺さんの方から、山門の老朽化による修復の要望が出て参りましたので、文化財保護調査委員会にかけて、山門の修理の50%相当の補助金を計上いたしました。その他は、会計年度任用職員に係ります共済費、通勤手当等の調整、それから国庫補助の調整等でございます。それと、おたまや公園のイノシシ侵入の防止ネット、これについても要求通りの配置となりました。以上でございます。
志賀教育長	佐藤歴史文化館長。
佐藤歴史文化館長	はい。歴史文化館です。5ページの歳出欄をご覧ください。アーカイブス・講座事業です。歴史文化館で収蔵している古文書等のデジタルデータを保存しているテラステーションのメイン機が壊れてしまい、新たに購入しなければならなくなりました。そのため、印刷製本費から備品購入費に5万円を組み換えさせていただきたいと考えております。また、管理運営費に、鳩除け設置工事11万5000円を計上させていただきました。以上です。
志賀教育長	後藤給食調理場長。
後藤給食調理場長	最初に歳入ですが、幼児教育・保育の無償化に伴う、副食費分（食材費）の減額措置に伴うものです。直入幼の副食費は、月額3,300円で、延べ8人分158千円を減額。中央では月額3,400円で、竹田幼・南部幼合わせて延べ30人598千円の減額となるものです。次に歳出ですが、久住調理場の内訳としまして、消耗品では、洗剤等の厨房用衛生消耗品の予算不足によるもので、修繕料は、配送車の冬用タイヤや年度末までの修繕を想定したもので、コピー使用料は、学校で使用する資料等で印刷の増によるもので、既存の冷凍庫の故障により、新たにリース物件となった為半年分(10-3月)の使用料です。直入調理場増額補正73千円については、調理場統合に伴い厨房排水施設の清掃委託として、1月～3月分を追加で要求したものです。また中央調理場補正内容4,208千円につきましては、消耗品費として補正額1,171千円の内、直入調理場統合に伴うご飯用・汁用・大皿・小皿やスプーン等の食器として971千円ございます。残り200千円は、厨房用衛生品の洗剤他でございます。燃料費は、ボイラー用灯油等単価上昇による増額補正、また修繕費では、厨房機器夏季点検指摘分や、ボイ

ラー等の突発的な修繕も想定されることから476千円の補正、備品購入については、直入調理場統合に伴う、新たに汁物・揚げ物・和え物・ご飯食缶等の二重食缶、食器カゴ、特注コンテナ合わせて2,236千円を補正するものです。以上でございます。

志賀教育長

では全体を通して質疑等ありませんか。ないようでしたら、報告第1号を承認してよろしいですか。

委員

(「はい。」の声。)

志賀教育長

承認されました。次に移ります。協議事項はありません。連絡事項について、教育総務課長、説明をお願いします。

後藤教育総務課長

連絡事項です。2ページです。1月11日始業式、百人一首大会久住中、13日グランツ出前落語会(都野中)、避難訓練(久住小)、14日しょうゆもの知り博士の出前授業(竹田小4年)、避難訓練(南部小・直入幼)、百人一首大会(緑ヶ丘中)、グランツ出前落語会(久住中)、17日避難訓練(直入小)、18日避難訓練(竹田小・白丹小・竹田幼)、新春遊び集会(城原小・荻小)、GIGAスクール特別講座(都野小6年)、19日書き初め大会・新春遊び集会(豊岡小)、避難訓練(荻小・南部幼)、グランツ出前落語会(直入中)、20日命の授業(南部小5年)、ドローンを使用したプログラミング教育(都野小・直入小5・6年)、防災訓練(直入中)、21日お正月あそび大会(直入幼)、22日ふれあいまちつき大会(祖峰小)、25日避難訓練(菅生小・城原小)、27日ドローンを使用したプログラミング教育(豊岡小・祖峰小5・6年)、28日グランツ出前落語会(緑ヶ丘中)。次に3ページの令和4年1月教育委員会関係日程(予定)です。1月4日仕事始め式、7日新年互例会、9日令和4年成人式、11日教育委員会第1回定例会、13日第12回校長・所長会議、17日竹田市スポーツ協会理事会、19日久住高原クロスカントリー大会実行委員会、20日第1回久住中学校統合検討委員会、21日菅生小・南部小交流授業、23日令和3年度文化財火災防御訓練(旧竹田荘)、25日大分県市町村教育長会議兼教育情報化推進本部会議(大分市)、26日直入中学校の今後のあり方について(地域説明会)、28日定例課長会議、菅生小・南部小交流授業。それでは最初に戻っていただきまして、3番の今後の主な予定ということで、①教育委員会第2回定例会、2月7日15時、場所は3階の議員全員協議会室を議場の手前にありますので、そちらの方になります。②第3回定例会、3月4日金曜日15時から、場所はこの庁議室でございます。③中学校の卒業式ということで、3月4日金曜日。④幼稚園の卒園式、3月18日金曜日。⑤小学校の卒業式、3月23日水曜日。詳しい日程や、それぞれしていただく学校等については、2月の定例会でお知らせできればというふうに考えています。以上であります。

志賀教育長

質疑等ありませんか。連絡事項についてよろしいでしょうか。はい、それでは、各課からお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。

後藤教育総務課長

はい。12月定例会のときに、直入幼稚園の公募ということで説明をさせていただきました。その時に、佐藤委員から次の定例会には、その報告はできますねということでありましたので、報告をさせていただきます。12月1日から1月

7日17時までを令和4年度の入園児の募集期間といたしました。それで、直入幼稚園については、7日の17時に締め切った中で、在園児とそして入園志願者数についてはあわせて4人でありました。つまり、運営規則の第17条にうたっている5人未満というところになりましたので、令和3年度末をもって閉園すると、今年3月31日をもって閉園とするという方向になるということで、今日の午前中、市長にも報告しその協議をしたところでございます。そして、その応募いただいた入園志願者の方には、その閉園の旨を通知をしたいというところであります。継続についてはできないという旨の内容の文章を決裁をとって通知をしたいというふうに考えておりますし、在園の1人、つまり令和4年度、年長になるお子さん1人いますけれども、そちらの方についても閉園のお知らせと、統合によるということになりますので、竹田幼稚園に統合ということになりますので、その通知も併せて行うための、今決裁をとっているところでございます。決裁ができましたら、それぞれの保護者に通知していきたいと思っております。そして、まだ何も予定はしておりませんが、卒園式に合わせた、閉園の何らかの形ができればなというふうには思っている段階でございます。以上です。

志賀教育長

はい、渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

4点お願いします。まず1点目は、本日、始業式で、幼稚園、小学校、中学で3学期をスタートしております。明日は、教育支援センターサフランの始業式でございます。学校に行けない、今不登校の子どもたちも、そこで3学期のスタートをきり目標を新たに頑張るところでございます。新型コロナウイルス感染症対策をしながら、年度末の教育活動を実施していきたいと考えます。2点目です。菅生小学校と南部小学校の同学年の交流授業を、1月21、28、2月18日の3回にわたって実施します。菅生小学校の保護者には公開して、少しでも不安を取り除いていきたいと考えている次第です。3点目です。ICT支援におけるドローンプログラミング授業につきましては、先ほど、教育総務課長から行事予定でお伝えしたところであります。トイドローンの操縦や災害を想定したドローン配送のプログラミングを、すべての小学校5・6年生を対象に各学校で実施する予定です。最後4点目です。第3回学校運営協議会、第2回の学力向上会議を兼ねておりますが、2月中旬より、各学校で実施をしていきます。また、教育委員の皆様に参加してご助言いただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

志賀教育長

工藤生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

はい。2点ございます。1点目は、ネーミングライツの今後の日程について、説明をさせていただきます。すべて一応予定ということでご了解いただければと思いますが。1月14日に選定等委員会を開催して、ネーミングライツパートナーを決定して、1月28日の定例記者会見で発表ということの予定でございます。2月に契約の締結式を行いまして、予定通りにいけば、相手様の丸福様については、2月、3月中に各会場に、先ほどの丸福スタジアムとかの名称の入った看板等の設置を行っていただいて、4月1日から愛称名の使用の運びということでございます。一応そういう予定ということで、今日教育委員の皆様方からご意見をお伺いして、今度の14日で決まってということですので、何とも予

定でありますので、そういうことでご理解いただければと思います。
2点目は、今後の行事予定ということであります。2月6日の日に、例年行っております和気藹音コンサートということで、市内の合唱のグループとか、ブラスバンドとか、そういった器楽のグループとか、そういったところが集まったコンサートがあります。それと、2月の下旬に運動公園のリニューアルオープンのイベントということで、ちょっと講師等の日程があるものですから、はっきりいつということ自体はあれなんですけど、2月の下旬ということで、オープニングイベントを予定しております。3月12日に、生涯学習まつり、昨年は展示のみでございましたが、今回については、舞台の発表もできればということでございます。翌3月13日、カラオケフェスタということで、ともにグランツを使ってですね、一応そういった行事を行う予定ということでございます。それと、13日の同日に、損保ボウルフesta in 竹田ということで、よその損保組合というか、保険会社ですか、そういったところの方の、球技を使ったですね、ボールを使った、そういったイベントでございますけど、これをB&GのLED化を今しておりますので、そのリニューアルオープンも兼ねてですね、できればという予定で考えております。以上です。

志賀教育長

古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長

旧双城中学校、文化財管理センターを拠点として別府大学と協定を結んで、研究等をするようになって10年が経ちました。一つの区切りということで、今年度中に、10周年記念の講演会を行いたいと考えておりました。別府大学とは、この10年の間に学生との交流というようなところも含めまして、城原の大祭や宮城の小松明祭り、それから久住の夏越祭り等に参加をするなど、近年では岡大豆の合同研究といったことをしていたところであります。で、ちょっと先ですけれども3月6日の土曜日にグランツたけたキナーレで学長等をお招きして講演会等をしようというふうに考えております。早ければ、来月の頭に市民の方にお知らせするとともに、委員の方々にもご案内を申し上げることになるのかなと思いますので、あらかじめお知りおきいただければと思います。個人的にはちょっとコロナのオミクロンの関係が気になっておりますけれども、大学と歩調を合わせておりますので、一旦はご案内をすることになるのかなといったところでございます。こういったようなイベントも含めてですね、令和4年も委員さん方を事業等にご案内する可能性がありますが、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

志賀教育長

佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化館長

はい。歴史文化館では、お手元にパンフレットを配らせていただきましたが、2月6日まで企画展「Let's タイムトラベル ～絵葉書でたどる明治から昭和初期の竹田～」展を開催しています。パンフレットを一回開くと大正時代の竹田、もう一回開くと昭和初期の竹田を見ることができます。手軽に小旅行を楽しめる旅行ブームが生まれた大正から昭和初期にかけて、「絵葉書」は旅行先の思い出を持って帰るのに最適な「おみやげ品」でした。今回の企画展は「絵葉書」や地図などを通して大正・昭和初期の「竹田」を紹介します。当時の雰囲気にゆっくり浸りながら観て、体感していただければと思っております。よろしくお願いたします。

志賀教育長	後藤給食調理場長。
後藤給食調理場長	特にございません。
志賀教育長	後藤教育総務課長。図書館ありますか。
後藤教育総務課長	はい。特にございません。
志賀教育長	それでは、教育委員の皆様からご意見ご質問等ありませんか。では、最後にご意見、ご感想等があればお願いします。賀籠六委員からお願いします。
賀籠六委員	はい。本日より3学期が始まったということで、大分でもオミクロン株の感染が広がりつつありますが、従来の感染対策で十分感染が予防できるというふうな話もありますが、是非学校サイドで子供たちのマスクの着用等の指導の方を今一度よろしくお願いいたしたいと思います。以上です。
志賀教育長	では、甲高委員お願いします。
甲高委員	はい。ネーミングライツパートナーについて、本当にもう丸福さんにはですね、ありがたいなっていうのが素直な感想です。これから、年間いただくお金をうまく活用して行って、施設の維持であったり、スポーツ振興に役立てていければと、一緒に考えていければというふうに思ってます。本当にありがたいことで、感謝申し上げたいと思います。以上です。
志賀教育長	佐藤委員。
佐藤委員	はい。先ほど、直入幼稚園の閉園が決まったというお話があったんですが、竹田市の幼児教育を受けさせたいという思いは保護者の方は特別なのかなと、預かってくれればどこでもいいというわけではなく、幼児教育を受けさせたいというお気持ちの保護者、子供さんだと思うので、竹田幼稚園にうまく馴染めて、子供たちが今までと変わらない幼稚園生活が送れるといいなと思っています。以上です。
志賀教育長	吉野委員。
吉野委員	はい。私も直入幼稚園の件ですが、恵まれた自然環境の園舎とか、充実した教育内容の園を残すことができなくなると思うと非常に残念です。また、子供たちを通わせようとしていた家庭にとっては、まだ通知はこれからということですが、今後、閉園が現実になっていくとすると、落胆が大きかろうというふうに思いますし、不安を抱えるであろうと思って心配であります。これまで時間をかけていただいて、説明と対話の機会が設けられる中で、保護者の声は、可能なところは取り入れてもらえたと思います。具体的には、募集の際に保護者の声を掲載できたこととか、公開保育の機会が設けられたこと、また募集要項を送付する際には、従来よりも範囲を広げて郵送していただいたとか、そして閉園の際には統合という形になったというのは、できるだけ納得

のいく形に近づけてもらえたというふうに、受けとめてもらえるのではないかと感じています。保護者の方は、自分のお子さんのことを一生懸命に考えるだけでなく、直入幼稚園のことだけでなく、地域のこれからの子育てとか、また時を経るにつれて竹田市全体の子育てについてもよくよく真剣に考えてくれていたなと思います。子供の人数は少なくはなりますが、地元の地域の力で何か少しでもよい環境を残していけるように、また力を合わせて、子育ての仲間でありますので、悩みや困りを個人で抱えることがないように、繋がりを絶やさないように見守っていきたいと思いますので、市教委の方でも、未就学児を、保育所で過ごす子、子ども園で過ごす子、幼稚園で過ごす子、また家庭で過ごす子も含めて、見守っていただきたいと思います。閉園に向けてですが、現場の先生方の声を聞き取っていただいて、過度に負担がかからないように配慮をお願いしたいと思います。以上です。

志賀教育長

ありがとうございました。幼稚園につきましては、これから変わるお子さんがいるわけですから、当然、心配もあるでしょうし、不安もあるでしょうが、これまでお聞きした声を参考にして、それらの不安を払拭するような幼稚園教育を進めていかねばと考えています。幼児教育に関して、ただいまの教育委員の皆さんの意見に対して、各課長から何かありませんか。質問は特にありませんでした。学校教育課長。

渡邊学校教育課長

幼児教育において、大変ご心配していただいているところでございますが、来年度においても、「幼保小の架け橋プログラム事業」等に積極的に手をあげて、竹田市において幼児期の終わりまでに育てほしい姿等を手がかりとして、各園の創意工夫を活かした、幼児教育、幼児の体験の幅を広げ質を高める、そういう教育をこれからも探っていきたいと考えております。その際に、家庭ともしっかりと共有できるような、そういう教材の開発や、支援の仕方等も発信していきたいと考えます。以上です。

志賀教育長

今話が合った架け橋プログラムというのは、大分県では竹田市だけになると思います。そういったものも含めて、さらに研究を深めて、幼児教育についても今まで以上に力を入れていかねばと考えております。他にありませんでしょうか。ないようでしたら、これで定例会を閉会します。ありがとうございました。

[閉会時刻:午後4時20分]